

実は危険な避難道

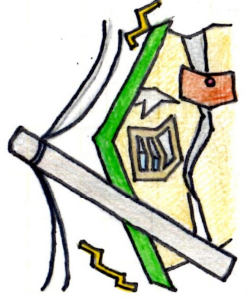
～まず高めよう防災意識～

号外!

自主防災新聞

大月つ子

大月中学校2年
坂本 研 彦
中田 山 山
田 山 山

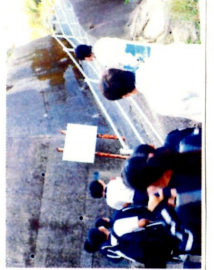


避難を妨げる壁と 避難手段

柏島では土砂崩れ、地震、津波の被害が起こりやすい地形となっております。近い将来、大規模被害が起こった時に、高齢者の多い柏島では年配の方をどう避難させるかについてが問題となっております。もし道路沿いの建物が崩れてしまった場合、避難するための道がふさがってしまったりしようもありません。大月町役場の危機管理室の方のお話では、それを防ぐために*老朽住宅除き事業という事業を開設したそうです。ぜひ活用してきてください!また、一

人で避難するのが困難な要配慮者の方に、おんぶわりアカーデの方々が例としてあります。ただし、それでは人員と時間が不足しております。まずは、住民が自ら災害が起こること意識し、地域での避難訓練に積極的に参加できればと思います。私達中学生も地域の一員として協力する方を考えます。(ほるか)

*老朽住宅除き事業は、国や県からの補助金が交付される事業。

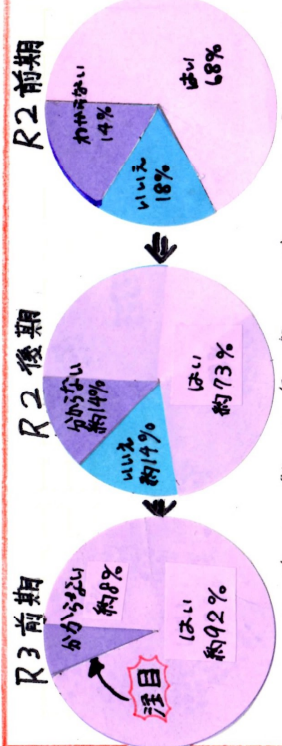


防災アンケート

クイズのみんなに聞いてみた!

問①「あなたは、地震が起きた時に、避難する安全な場所を知っていますか?」(家にいる時)

昨年度から、私たちが実施している「防災意識アンケート」の結果です。

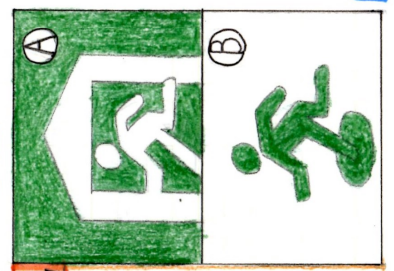


私たちが、一年生のアンケートでは、自宅に居る時の避難場所を知っていたのは、わずか、68% (2人) だけ。後期には73%、2年生になると「いいえ」の回答はゼロとなり、92% (2人) が「はい」を知っていることと答えました。防災に關してこれまで私たちが学習してきたことの成果だと思えます。

ただ、わずかながら8% (2人) が、まだ分からぬと答えており、これは避難場所そのものの意味が分からないかもしれないと気が付きました。改めて、各地域の避難所や避難場所についてもう一度、確認する必要があると思いました。

あなたは「避難所」と「避難場所」の違いが分かりますか?

「学ぼう!」クイズ



右側のピクトグラムのうち、まよろじうらが避難所でまよろじうらが避難場所でしょうか。一文字しか違いますが、その役割は大きく違います。

「避難所」とは
 大規模な地震や大規模な火災などで自宅に帰れないような場合に開設され、ある程度夜間まで自備の備品やトイレなどの施設が完備されています。主に公民館や小学校などの公共施設がこれにあたります。

「避難場所」とは
 津波や津波などで地域全体が危険な場合にまず逃げ出すための場所のことです。大きな公園や緑地、グラウンドなどがこれに指定されていることが多いです。

答え: ①避難場所、②避難所